

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E1421021		作曲法 (Method of Composition)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 清水 慶彦 E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	中学校学習指導要領がさだめる「創作」の内容をふまえ、調性にもとづく音楽作品の基礎的な作曲法を学ぶ。そのことを通じて、楽曲の構造や音楽理論への理解を深めるとともに、楽譜の正しい書き方など、音楽科教員としての基本的な素養を身につける。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 音階や調性など、基礎的な音楽理論を理解し応用できる。																	
目標2 旋律を作成し、和声や伴奏を付することができる。																	
目標3 旋律と言葉の関係や反復・変化・対照など、中学校学習指導要領解説に示された「構成の工夫」ふまえた作曲実践ができる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 基礎的な理論：音階と和音、旋律と和声																	
2 旋律（メロディー）はどのように作られるか																	
3 旋律の創作（1）動機、楽句、楽節の構造																	
4 旋律の創作（2）旋律の形式																	
5 言葉と旋律の関係																	
6 旋律と和音の関係を考える																	
7 旋律に和声をつける																	
8 和声をもとに伴奏をつくる																	
9 楽曲の構成の工夫とは																	
10 楽曲の構造と形式																	
11 さまざまな楽曲形式																	
12 さまざまな作曲手法																	
13 ここまでのまとめと制作課題の添削																	
14 中学校学習指導要領では何が望まれているか																	
15 制作課題の合評																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	作曲実践をともなう能動的修学。					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	課題の実践，作曲など（30h）。															
	事後	授業で明らかになった技術的問題の修正など（15h）。															
教科書	授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。																
参考書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』、『中学校の音楽』（1、2・3上下巻 教育芸術社）																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業での課題実践	40%															
	作品提出	60%															
	授業中の課題実施，作品提出等により総合的に評価。																
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																